

小松市教育委員会会議録

会議名	令和2年第3回小松市教育委員会定例会					
開会月日	令和2年2月13日(木)	場所	ひととものづくり科学館			
会議時間	(開会) 午後1時00分～(閉会) 2時35分					
休憩時間	①(休憩) 午前・午後1時30分～(再開) 午前・午後2時00分 ②(休憩) 午前・午後時分～(再開) 午前・午後時分					
委員の出席	教育長	石黒 和彦	出席	委員	北村 嘉章	出席
	委員	吉原 慎吾	出席	委員	中惣 恭子	出席
	委員	勝木 克子	出席	出席委員 4名 欠席委員 0名		
出席説明者	教育次長 吉田 均		出席	シニアマネージャー 道端 祐一郎		出席
	未来の教育課兼教育研究センター所長 中谷 光恵		出席	図書館長兼南部図書館長 山本 裕		出席
	教育庶務課長 東谷 勝美		出席	教育庶務課 専門官 唐木 和也		出席
	学校教育課長 廣田 恵子		出席	市立高校 事務長 三ツ橋 薫		出席
	青少年育成課長 松野 真弓		出席	ひととものづくり科学館 副館長 浅野 幸恵		出席
	博物館・美術館館長 二木 裕子		出席			
書記	教育庶務課主幹 寺田 喜朗		出席			
傍聴者	0 名					
会議に付した議題	【議案】					
	・議案第1号 令和元年度勝木賞被表彰者について(学校教育課)					
	・議案第2号 令和2年度小松市奨学金支給奨学生について(学校教育課)					
	・議案第3号 小松市立博物館・美術館設置条例について(博物館等)					
	・議案第4号 小松市立博物館規則を廃止する規則について(博物館等)					
	・議案第5号 小松市立宮本三郎美術館規則を廃止する規則について(博物館等)					
	・議案第6号 尾小屋鉦山資料館規則を廃止する規則について(博物館等)					
	・議案第7号 小松市教育に関する事務の職務権限の特例を定める条例の一部を改正する条例について(教育庶務課)					
	・議案第8号 小松市教育委員会の権限に属する事務の補助執行に関する規則の一部を改正する規則について(教育庶務課)					
	・議案第9号 小松市教育委員会の組織等に関する規則及び小松市教育委員会公印規則の一部を改正する規則について(教育庶務課)					
	・議案第10号 小松市教育委員会事務決裁規程の一部を改正する規程について(教育庶務課)					

教育委員会報告

令和2年2月13日

【議案】

議案第1号 令和元年度勝木賞被表彰者について	
所管部課名	学校教育課
内 容	非公開
教育委員等の意見	非公開
回 答	非公開
	議案第1号 承認

議案第2号 令和2年度小松市奨学金支給奨学生について	
所管部課名	学校教育課
内 容	非公開
教育委員等の意見	非公開
	議案第2号 承認

議案第3号 小松市立博物館・美術館設置条例について 議案第4号 小松市立博物館規則を廃止する規則について 議案第5号 小松市立宮本三郎美術館規則を廃止する規則について 議案第6号 尾小屋鉱山資料館規則を廃止する規則について	
所管部課名	博物館・本陣記念美術館・宮本三郎美術館
内 容	<p>昨年6月に第9次地方分権一括法により博物館法第19条が改正され、博物館を市長部局に移管することが可能となった。これを受けて、補助執行となっている博物館施設6館について、市長部局に移管するとともに、新たに小松市立博物館・美術館設置条例を制定するもの。</p> <p>市長部局に移管することで、これまでの教育事務に加え、まちづくり、観光への展開を強め、博物館、美術館を活用した地域の魅力</p>

	<p>発信に努めていく。また、条例の一本化により運営事務のスリム化、効率化と施設間の連携強化を図ることができる。</p> <p>新たな条例では、対象の6施設を博物館、美術館に分け、休館日をそれぞれ水曜日と月曜日にまとめ、料金体系も整理した。また、協議会の範囲を6館全てに広げ、専門的アドバイスや評価をいただけるようにした。</p> <p>市長部局に移管することによって、教育委員会規則である、小松市立博物館規則、小松市立宮本三郎美術館規則、尾小屋鉦山資料館規則を廃止する。</p>
教育委員等の意見	<p>【北村委員】</p> <p>協議会の定員は10名のうち現在は7名しかいない。現在の委員の方の専門等を考慮して、美術界の動きを良く知る方などを増やしてもらいたい。</p>
	<p>議案第3号 承認</p> <p>議案第4号 承認</p> <p>議案第5号 承認</p> <p>議案第6号 承認</p>

議案第7号	小松市教育に関する事務の職務権限の特例を定める条例の一部を改正する条例について
議案第8号	小松市教育委員会の権限に属する事務の補助執行に関する規則の一部を改正する規則について
議案第9号	小松市教育委員会の組織等に関する規則及び小松市教育委員会公印規則の一部を改正する規則について
議案第10号	小松市教育委員会事務決裁規程の一部を改正する規程について
所管部課名	教育庶務課
内 容	<p>地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部が改正され、教育委員会が所管することとなっている博物館などの公立社会教育施設について、条例の定めるところにより市長部局への移管が可能となった。</p> <p>これを受け、教育に関する事務のうち、博物館の設置、管理及び廃止に関することを市長部局へ移管する。対象施設は、博物館、その分館である本陣記念美術館、宮本三郎美術館、宮本三郎ふるさと館、尾小屋鉦山資料館となる。</p> <p>市長部局への事務移管に伴い、小松市教育委員会の権限に属する事務の補助執行に関する規則、小松市教育委員会の組織等に関する規則、小松市教育委員会公印規則、小松市教育委員会事務決裁規程から、博物館、本陣記念美術館、宮本三郎美術館、宮本三郎ふるさと</p>

	と館，尾小屋鉦山資料館に関する項目を削除する。
教育委員等の意見	<p>【北村委員】</p> <p>観光分野等と関連した施策を行っていくというのは全国的な流れかもしれないが，学校教育と関連する大切な施設であるので，今後も教育に関連することは報告してほしいし，連携もとってほしい。</p>
回 答	<p>【石黒教育長】</p> <p>既に市長部局の事務となっているスポーツや文化，そして今回の博物館や美術館は小松市の資源であるし，教育の資源でもある。教育委員会はこれまで通り各部署と連携をとっていく。意向も伝えるし施設も活用していくことになる。小松市の魅力づくりのために市長部局に移管され，観光等の面が磨かれ強化されることにより，教育分野にもプラスになっていくことが大事だと思う。</p>
	<p>議案第7号 承認</p> <p>議案第8号 承認</p> <p>議案第9号 承認</p> <p>議案第10号 承認</p>

【報告事項】

件 名	小松市サイエンスアドベンチャーについて
所管部課名	未来の教育課
内 容	<p>12月7日に小学生ものづくりコンテストと湯浅・中山賞受賞者の発表会を行い約150名の参加があった。</p> <p>ものづくりコンテストは，ものづくりを通して科学に対する興味，関心を高め，科学的な思考，判断，表現力を養うこと，そしてチームで協力することで協働性を身につけることを目的としている。</p> <p>湯浅・中山賞の発表は，受賞者のうち今江小学校5年の木場さんと稚松小学校6年の中村さんが行った。2人とも写真や表などを取り込んで大変分かりやすい発表だった。発表に対して，参加児童が積極的に質問をしたり，感想を述べたりしていた。来年度も積極的に参加できる内容にしていきたい。</p>
教育委員等の意見	<p>【中惣委員】</p> <p>湯浅・中山賞受賞者の作品を当日以外はどこで見ることができるか。市役所での展示はあるか。</p> <p>【吉原委員】</p>

	市内8小学校からの参加となっているが、参加する学校に特徴や偏りはあるのか。
回 答	<p>【中谷未来の教育課長】</p> <p>サイエンスヒルズで夏休み後に作品展があり、そこで展示している。また、県内でも巡回展示をしている。市役所での展示予定は今のところないが、検討してみる。</p> <p>4年生から3年連続して参加している子もいれば、初めての子もいてばらついている。</p>

件 名	寄附受納について
所管部課名	学校教育課
内 容	<p>小松シティロータリークラブより 20 万円の寄附の申し出があった。「小松市小・中学生かけはし文芸コンクール」の作品集の出版支援金として使わせていただく。</p> <p>かけはし文芸コンクールは、市内の小中学校から俳句、短歌、詩、作文の部門ごとに文芸作品を集め審査している。優秀な作品は作品集にして学校に送り、来年度の意欲づけにしている。</p>
教育委員等の意見	なし

件 名	小松市立高校受検状況について
所管部課名	市立高校
内 容	<p>推薦入学の出願を締め切った結果、普通科は募集 12 名に対し 26 名の応募があり、出願倍率は 2.17 倍となっている。芸術コースは募集 10 名に対し 21 名の応募があり、出願倍率は 2.1 倍となっている。</p> <p>本日推薦入試を実施している。合格内定者には中学校長を通じて 18 日に通知する予定となっている。</p>
教育委員等の意見	<p>【北村委員】</p> <p>学校見学のアンケート結果が良かったのに芸術コースの受験者数が減っている。原因はなにか。</p> <p>吹奏楽は石川県のトップになったり大変頑張っているのに新聞等に出ている知らない人が多い。吹奏楽は結果も出ているし学校の魅力にもなる。そこをどうPRしているのか。</p> <p>【勝木委員】</p> <p>芸術コース出願者で音楽と美術の割合はどうなっているのか。また、例年との違いはあるのか。</p>

回 答	<p>【三ツ橋事務長】</p> <p>受検者が減少した原因はつかめていない。一般入試で減らないよう広くPRしていきたい。</p> <p>生徒の活躍はホームページや学校前の看板などで大きく掲載しているが、PRが足りない部分もあるかもしれない。PR手段を増やすなど考えていきたい。</p> <p>芸術コース出願者は、音楽13名、美術8名となっている。例年音楽の方が多い。</p>
-----	--

件 名	ひとつものづくり科学館1月報告について
所管部課名	ひとつものづくり科学館
内 容	<p>1月4日に田端秀樹さんを迎え、星空のプラネタリウムショーを実施した。今回で6回目になるが、毎回ほぼ満席となる人気イベントとなっている。</p> <p>体験教室で行っているプログラミング教室は1月でほぼすべての4年生が体験を終えた。レゴプログラミング体験教室は大変な人気で予約をとれなかった人が多かったことから、定員を2倍に増やして実施した。</p> <p>今後の予定として、2月に公立小松大学の香川教授に講演いただく。また、今年は東京オリパライヤーということで、「スポーツを科学する」企画を春休み、ゴールデンウィーク、夏休みに企画していきたい。</p>
教育委員等の意見	なし

【その他】

件 名	次回教育委員会会議日程について
内 容	<p>日時：令和2年3月11日（水）午前9時30分</p> <p>場所：市役所6階 教育長室</p>

【教育委員からの意見・提言】

吉原委員	<p>教職員の多忙化について一定の効果が出て良かったと思う。改善は必要だが、単に時間を短くしただけなど、本来の目的から外れた取り組みを行っているか。持ち帰りなど見えていない事例がないかなどもつかんでもらいたい。</p> <p>また、教育の質を落とさないことが前提なので、質が落ちていないことを示せる何か。例えば可視化や小松独自の基準などがあっても良いのではないかと思う。</p>
中惣委員	<p>登下校マナーの悪い場面に出くわすことが最近多々あったので、4月に向けて各学校では改めて指導してほしい。</p>
勝木委員	<p>特になし</p>
北村委員	<p>特になし</p>